

第93回 みんなで作る音楽会 案内

日時：11月12日 水曜日 13:15 から 16:00

場所：公民館 114 室 4655

参加者：兵東、小林猛、久我、塩路弘子、下中、庄司、榎本、三村、山川夫妻、山崎、
安居院（記） 計 12 名

葉加瀬太郎コンサート ヘンリー・マンシーニ

今回は、葉加瀬太郎の音楽とヘンリー・マンシーニを取り上げた。

1. 葉加瀬太郎オーケストラコンサート

13:15-15:15

「エトピリカ」。

交響詩「希望」2025。

「ANOTHER SKY」

「STARLIGHT」。

来年、2026 年はソロデビュー30 周年。

映画音楽 2 曲。

① ミシェル・ルグランの《シェルブールの雨傘》

② ジョン・ウィリアムズの《シンドラのリスト》

自身のオリジナル曲を軸に活動している葉加瀬が既存曲を弾く機会は多くない。

20 世紀後半を代表する名ヴァイオリニストのイツァーク・パールマンが演奏していた。彼の憧れの奏者。今回が念願の初挑戦となったこの曲。完コピしたうえで、そこにさらに葉加瀬自身の音楽を乗せて表現したいと話していた。まさにそんな真摯な“気合い”がひしひしと伝わってくる。名演！

第1部最後 「Wild Stallions」。

第2部

「New Beginnings」 テレビ朝日放映の、津田梅子を描いたドラマのテーマ曲。

「Safflowers」 テレビ朝日のドラマの音楽、「流転の王妃2025」のテーマ曲。

「祝祭交響曲」 2026 年あいち・なごやスポーツ応援ソング。3 楽章構成内の 1 楽章と 3 楽章を演奏。

ピアソラの「リベルタンゴ」 途中、ベースのソロ、ギターのソロ、パーカッションのソロ。

「情熱大陸2025」

アンコールは、岩谷産業(葉加瀬太郎ツアーのスポンサー)の会長から「プロパンガスの炎のような熱い曲を」と依頼を受けて書いた曲。「MAHORобаー闘魂ー」



感想；

いやー。音響装置が良いので、まるで会場にいるかのように体感できた。

コンサートを、まるまる聞いた。葉加瀬のしゃべりのうまさにも感心した。

何よりヴァイオリンの音色の豊かさに感心したし、オーケストラの響きにも酔い痴れた。

すべての曲に、勢いを感じることができた。楽しい演奏会であった。

また、オケの弦楽セクションの役割分担の説明は、とても興味深かった。

2. 休憩

15:15-15:25

①清水さん（ご主人の具合が悪いので不参加だが、ご自身はいつも通り元気）からのお誘い

「芦屋少年少女合唱団 第45回定期演奏会」

2025年12月14日（日） 芦屋ルナ・ホール 開演 14:00

招待券（2名までOK）が、まだ4枚残っています。

ご希望の方は、メールで安楽院まで連絡下さい。

②次回は、12月10日（水曜日）13:15から 114室 7315

3. クラシックTV「映画音楽の革命児ヘンリー・マンシーニ」 15:25-15:50

映画音楽の巨匠ヘンリー・マンシーニ。

その音楽は世代を超えて愛され続けています。

魅力をひも解くキーワードは「シンプル・イズ・ベスト」。

1度聴けば口ずさめるくらいシンプルなのに、心揺さぶる作曲術を清塚信也が徹底解説！

▼ゲストは元宝塚歌劇団のトップスター・柚希礼音さん

▼清塚信也とビッグバンドによる豪華なスタジオパフォーマンスも必見です！



【曲目】

ヘンリー・マンシーニ名曲メドレー

i s l e s (ジャズ・バンド)、清塚 信也(ピアノ)

作曲：ヘンリー・マンシーニ

編曲：岩城直也 (3分30秒)

ひまわり

清塚 信也(ピアノ)

作曲：ヘンリー・マンシーニ

編曲：清塚信也 (3分)

酒とバラの日々

i s l e s (ジャズ・バンド)、清塚 信也(ピアノ)

作曲：ヘンリー・マンシーニ

編曲：岩城直也 (3分)

感想；

今日は、オーケストラ・サウンドの次は、ジャズ・サウンドが楽しめた。大変に贅沢！

ここでは、ブラスバンドなのでテナーサックス（ムーンリバー演奏）の音色にメロメロになった。豊かな響きが体中に迫ってきた。心に沁みる。

昔よく聞いたサム・テーラー演奏の「ハーレム・ノクターン」の感触が、まざまざとよみがえった。

ジャズ・バンドの演奏も素晴らしかった。

とても良い時間が過ごせた。

以上